夏の過ごし方、海外旅行がトップ。国内は2番目に

フォートラベル調査

旅行サイト運営のフォートラベルは、今年の夏（7～9月）の旅行動向について調査し、その結果をこのほど発表した。今夏の休暇の過ごし方は、「海外旅行」が35・3％でトップ、「国内旅行」25・8％で2番目だった。旅行をした人は全体の75・6％にのぼり、昨夏と比較して6・2㌽増加した。以下、「自宅中心で過ごす」20・4％、「帰省」9・2％、「日帰り旅行」5・3％、「その他」4・0％という結果に。

調査は8月27日～9月2日に実施。サンプル数は1036人。回答者は旅行好きであり、調査は「旅行トレンドの先行指標」（同社）と言えそうだ。

今夏の休暇の過ごし方を昨夏と比較すると、「自宅を中心に過ごした」人が5・3㌽減少し20・4％。逆に「帰省」は4・9㌽増加し9・2％に。日帰り旅行も1・0㌽増え5・3％となった。「自宅中心で過ごす」割合は今年のゴールデンウイークがで41・1％だったのに対して、夏は昨年も今年も20％台にとどまった。

旅行期間については、国内旅行では「3日間」が29・0％でトップ。続いて「2日間」23・7％、「4日間」17・0％という結果。7日間以上の回答も比較的多く14・3％、平均は4・5日間と、昨夏の結果3・9日間を0・6日間上回った。

一方、海外旅行は「8日間」が16・4％でトップ。続いて「5日間」13・3％、「9日間」12・4％となった。平均は8・8日間で、昨夏の7・9日間を0・9日間上回った。

国内旅行の行き先は、都道府県別では「沖縄」11・6％、「北海道」10・8％が好調。地方別では、「関東地方」14・3％や「関西」「甲信越」11・2％の人気が高かった。

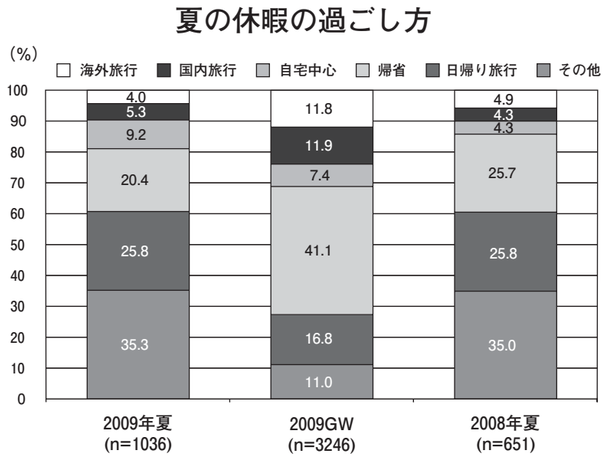
海外旅行の行き先は「アジア」がトップで43・7％。次いで「ヨーロッパ」32・7％、「ハワイを含む北米」10・1％となった。

同行者については、国内旅行では「家族（1、2世帯）」31・9％、「夫婦」20・2％、「ひとり」19・4％となった。昨夏と比較し、家族旅行が大きく伸び11・1㌽増、逆に「夫婦」は、14・3㌽減少。「ひとり」が増加し19・4％となった。

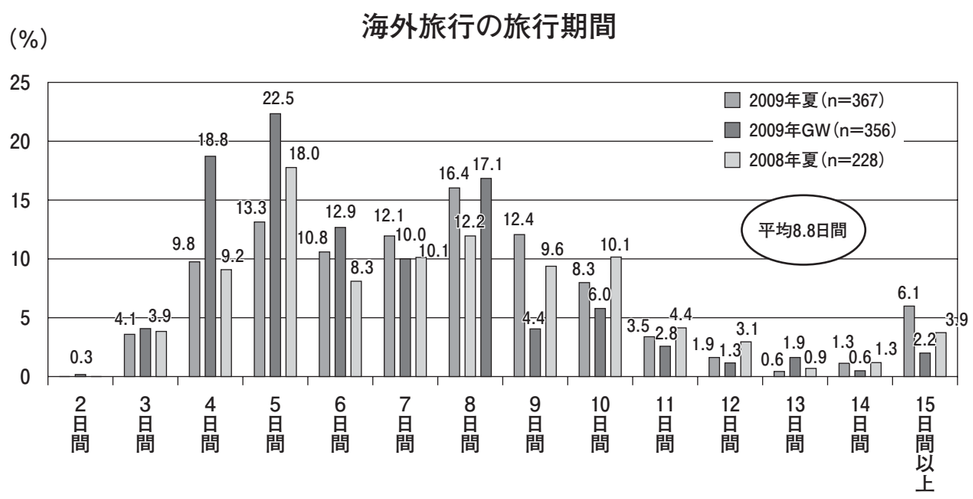
一方、海外旅行では「夫婦」33・8％がトップ。昨夏トップだった「ひとり」26・4％、「家族（1、2世帯）」18・1％という順に。

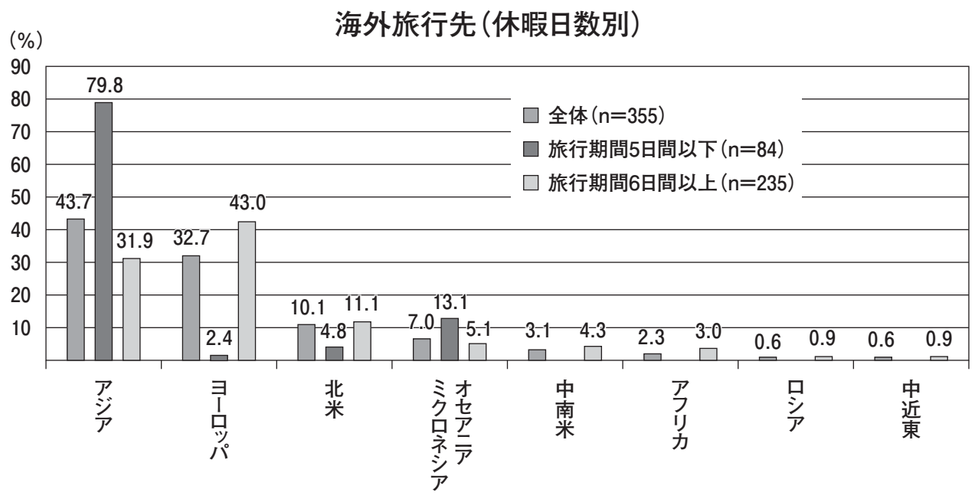
国内旅行の費用は「10万円以上」が20・5％でトップ。「5万円台」14・7％、「3万円台」14・3％と続く。昨夏には見られなかった「1万円未満」も2・3％あり、予算のバラツキが大きい。1人当たりの平均費用は6・4万円と昨夏よりも0・6万円高い。

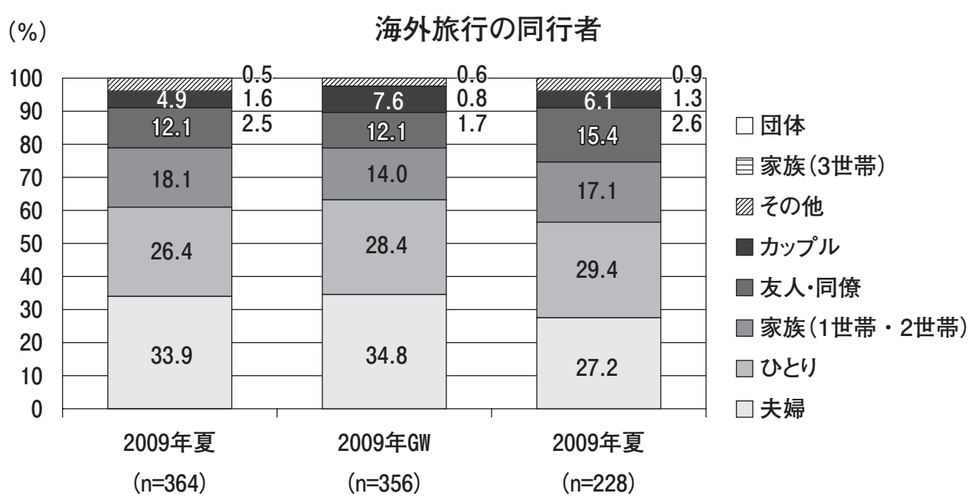
海外旅行の費用は5万円以上10万円未満がボリュームゾーンで20・5％。20万円以上25万円未満が14・0％と続く。平均費用は昨夏と同様21・3万円。

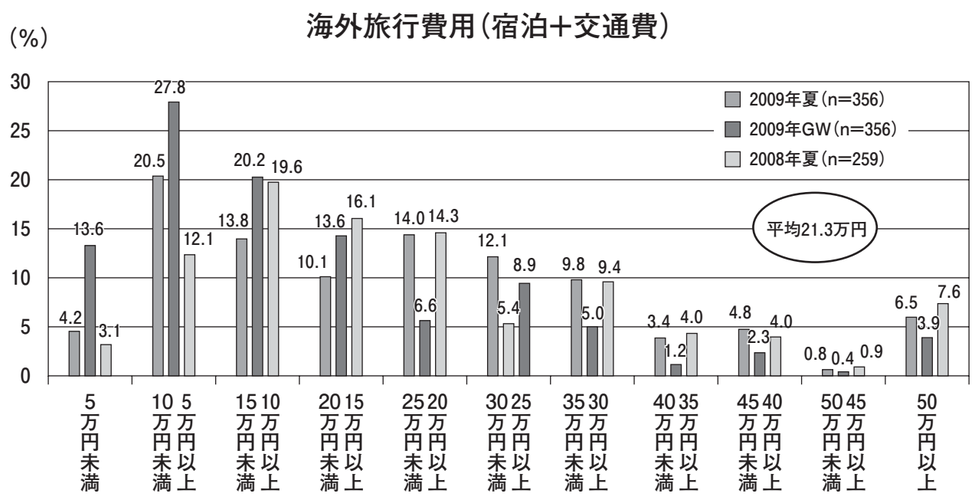


海外旅行

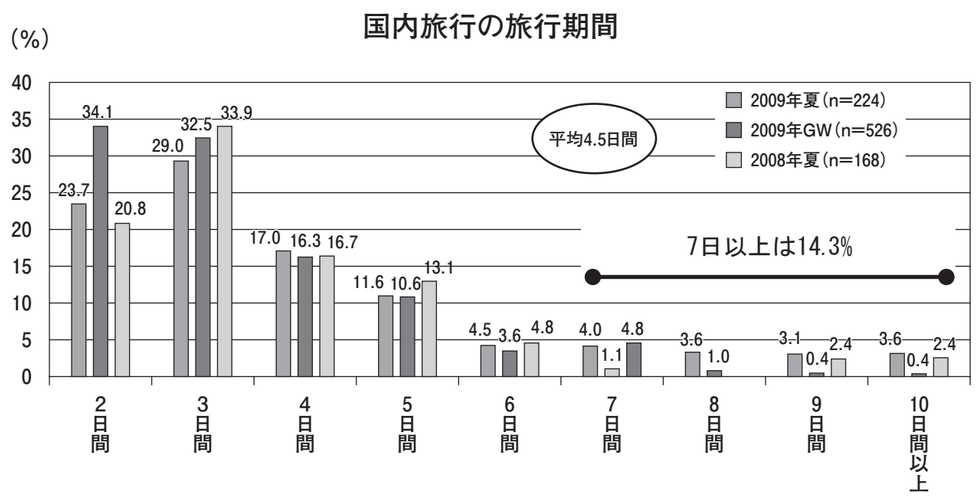


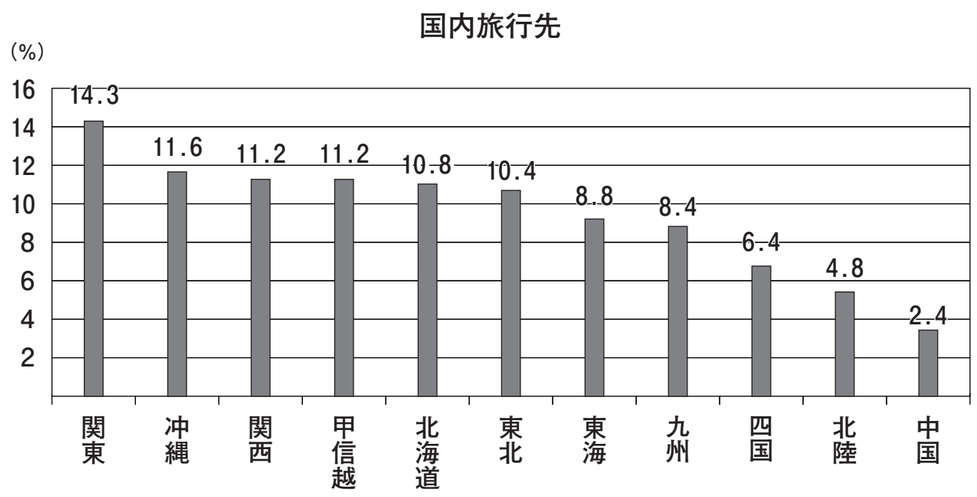


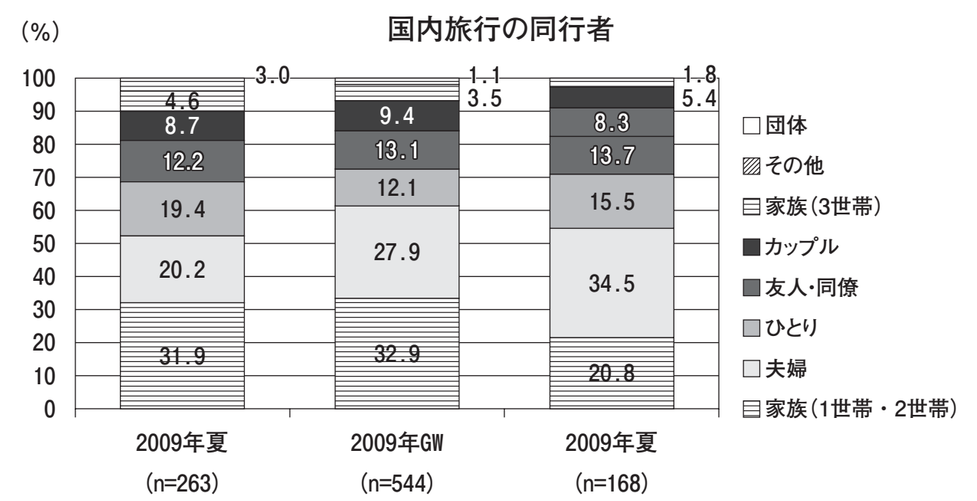


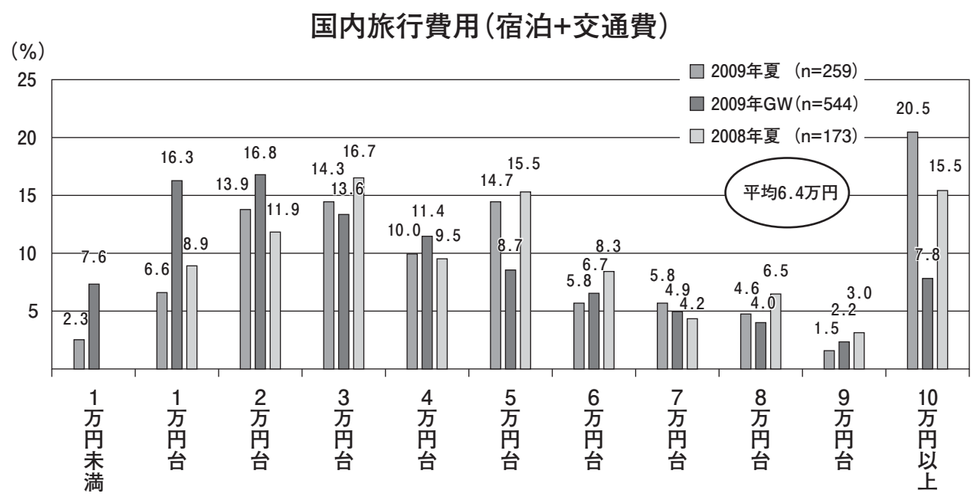


国内旅行









データ